



10月13日 ラグビィグドリーム【釜石鶴住居復興スタジアム】

シーズンに弾みをつける勝利

RWC2019日本大会釜石開催のレガシーを継承し「ラグビーのまち釜石」の定着や情報発信を図る同イベントが今年も開催され、地元の日本製鉄釜石シーウェイブス（以下、SW）は、今季同じ2部で戦う日野レッドドルフィンズとプレシーズンマッチを行いました。SWは、序盤から試合を優位に進め、6トライ5ゴールを奪い、40-19で勝利し、シーズンに弾みをつけました。

同ゲーム前には、小中学生による交流試合も行われ、会場は歓声と熱気に包まれました。



10月28日 釜石市国際外語大学 日本語学科開設式・第1期生入学式【釜石市民ホールTETTO】

ようこそ釜石へ 晴れの門出

学校法人龍澤学館が運営する釜石市国際外語大学に、日本語学科の第1期生としてネパール出身の16人が入学し、新生活をスタートさせました。これから1年半にわたり、地域の人々と交流しながら日本語習得を目指します。新入生代表のラウル ユブラズさん（20）が「日本語の勉強をがんばります。卒業したら、日本でビジネスを勉強したい」と宣誓しました。



10月1日 釜石市民歌独唱【市役所第1庁舎】

市民歌への「感謝」を胸に歌う

特別養護老人ホーム「仙人の里」に入所する若山節子さん（85歳）が、これまでの想いを胸に釜石市民歌を独唱しました。これは、若山さんからの「これまで何度となく励まされてきた市民歌への感謝を込め、市役所の前で歌いたい」との強い希望を受け実現したものです。若山さんは釜石への想いを胸に力強く、時には感極まる様子を見せながら歌い切り、見物していた多くの人もその姿に心を打たれました。



10月5日 釜石高校110周年記念式典【釜石市民ホールTETTO】

繋いできた鋼鉄の意志を次の世代へ

釜石高校の110周年式典が行われ、これまでの卒業生や在校生らが参加しました。式典後は、広島大学宇宙科学センター長で同校OBの川端弘治教授による記念講演が行われ、現在行っている超新星に関する研究の中で「鉄」が密接に関わっていることを挙げ、自身が行う研究が故郷に導かれたようだと話しました。在校生らは「鋼鉄の意志」を胸に、将来に想いを馳せました。



おめでとうございます

10月1日 叙位伝達式



元釜石市議の故佐々木眞様が、従五位を授与されました（ご子息の佐々木聡様が代理で受領）

10月31日 交通安全功労者等表彰



交通安全模範校
小佐野小学校
釜石東中学校
正福寺幼稚園
神愛こども園

ありがとうございます

10月8日 宗教法人仙寿院様



大平墓地公園内の管理棟に設置するためのルームエアコン1台を寄贈いただきました。

10月18日 ひむかの杜八福神様 100万円



東日本大震災復興支援金としていただきました。この他に交流のある2つの市内郷土芸能団体にも寄付が贈られました。

10月25日 子ども未来基金 加藤玲奈様



ラグビーを活用したまちづくりのため、コンサートの収益の一部を「ラグビーこども未来基金」にご寄付いただきました。

10月10日 100歳体操交流会【釜石市民ホールTETTO】

健康で豊かな人生を

元気でいきいきとした生活を送るために、市内各地で行われている「100歳体操」。今回は、100歳体操を行っている団体が集まり、情報交換・交流する取り組みが行われました。参加者らは、講師として参加した釜石市体育協会の佐久間定樹さんの軽体操・脳トレで頭と体をフル稼働させ、会場は笑いの渦に包まれました。

この他、保健師や歯科衛生士による講話も行われ、健康に対する意識が高まる1日となりました。



10月12日 第50回釜石健康マラソン大会【釜石鶴住居復興スタジアム】

節目の大会 ふかふかの芝を踏みしめて

これまで多くのスポーツ愛好者に愛されてきた「釜石健康マラソン大会」が節目となる50回目を迎え、子どもから大人まで236人が絶好の天気にも恵まれた秋のうのスタを駆け巡りました。今回から新設された「5kmアップダウンコース」には約20人が挑戦。参加者らは、日ごろのトレーニングの成果を発揮し、軽やかな足運びでゴールテープを切りました。

